

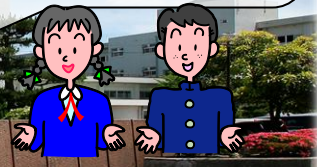
こんにちは

村上高校です!

地域に開かれた魅力ある学校を目指して、本校の取り組みを定期的にご紹介いたします。
電話 0254-53-2246(教務室直通)
FAX 0254-53-3401

本校ホームページ(<http://www.murakami-h.nein.ed.jp/>)もご覧ください

平成26年9月5日発行



新ALTはバジル・ネトルさん

8月27日、新しいALTのバジル・ネトルさんの新任式がありました。バジルさんはカリフォルニア州ロサンゼルス出身で、担当するのは1年生の「英語表現」の授業です。バジルさんは新発田高校に籍を置き、本校には毎週水曜日に来校することになっています。



ネイティブな発音に触れ、ますます英語力が向上するよう、積極的に授業に取り組んでください。

☆自分が第一志望にしている大学なので参加しました。工学部の説明を聞き、超伝導の現象も実際に見ることができて、一層関心が湧いてきました(二年男子・五十嵐キャンパスに参加)
☆二年生の時以上に進路のことを考えた上で参加しました。先生から受験勉強の方法や大学生活の様子を聞くことができ、意欲を高める機会となりました(三年女子・旭町キャンパスに参加)
☆先生が第一志望にしている大学なので参加しました。工学部の説明を聞き、超伝導の現象も実際に見ることができて、一層関心が湧いてきました(二年男子・五十嵐キャンパスに参加)

八月十一日、PTA主催の大学オープンキャンパス見学会が開かれました。バス三台に分乗し二台は新潟大学五十嵐キャンパスへ、一台は旭町キャンパス(医学部)へ向かいました。今回参加したのは二、三年生百七名で、それぞれ大学の雰囲気を感じ、大学進学へのイメージを膨らませていました。

大学オープンキャンパス

授業拝見

1年生の体育の授業、この時間は選択種目別でした。サッカーも女子がワールドカップで優勝する時代となり、すっかり女子種目としても市民権を得た時代となりました。

吹奏楽部県大会で銀賞受賞

8月6日、長岡市立劇場で県吹奏楽コンクールが開催され、本校吹奏楽部は高校Bの部で、「英雄は我が傍らに」を見事に演奏し、銀賞を受賞しました。



立体怪談 芸術鑑賞会開催

9月4日、村上市民ふれあいセンターを会場に芸術鑑賞会が開催されました。今年度は、一龍齋貞水師匠による立体怪談です。講談師の一龍齋貞水師匠は重要無形文化財保持者(人間国宝)で講談界初、寄席の世界では故・五代目柳家小さん師、桂米朝師について3人目。さて、「怪談話と言っても昔の通りのお話をしますから、怖くはありません…」と始まったこの日の立体怪談は『江島屋騒動 恨みのすそ模様』。60分の大作で終盤には、幽霊が会場に飛び出し、あちこちから悲鳴が…。十分怖かった怪談話でした。



☆卒業生合格体験講話

8月29日、この3月に国公立大学に進学した卒業生5人を招いて「卒業生合格体験講話」を開催しました。合格するための各人の勉強方法など、体験談を話していただきました。身近な先輩の話に、全校生徒はじっと聞き入っていました。

【生徒の感想】
☆目標を、早く、高く、明確に持つことが大切であるということが、改めてわかった。
☆合格を勝ち取る人は、プラスアルファの努力というものをしている。無理しているのではなく、当たり前だという意識を持つことでストレスなく達成できるという話に、自分でもできそうな気がした。



村上市民ふれあいセンターで書道パフォーマンス

8月23日、本校書道部は、村上市民ふれあいセンターで開催された「村上・岩船地域の医療を考えるフォーラム『長寿社会を豊かに生きる』」の開会イベントとして書道パフォーマンスを披露しました。書道部部長2年5組相馬七星さんが挨拶した後、この日駆けつけた書道部員12人のうち、2年生石田朱里さんをはじめとして6人が、用意された特大の用紙に挑戦しました。バケツに入った墨汁と特大大筆で「青春」の大文字をしたため、その後次々と思いのたけを文字に表していきました。会場に詰め掛けた大勢の高齢者から、その迫力に惜しみない拍手が寄せられていました。

